

## 国民年金保険料納付率の都道府県別格差と政府への不信感

2014.12.03

拓殖大学政経学部  
 経済学科3年 安藤雄祐  
 法律政治学科3年 釜谷菜里  
 法律政治学科3年 山本瑞葉

1

## 都道府県別年金納付率

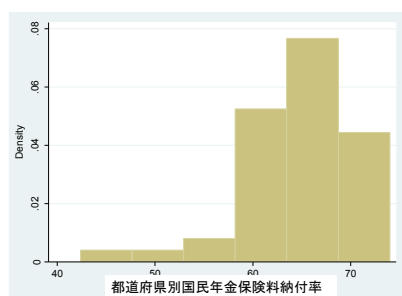
上位 10都道府県

下位 10都道府県

prefecture	pension	prefecture	pension
1.島根県	74	38.神奈川県	60.3
2.新潟県	73.6	39.千葉県	59.8
3.山形県	72.4	40.福岡県	59.2
4.富山県	72.2	41.栃木県	59.1
5.福井県	72	42.長崎県	59
6.石川県	71.9	43.茨城県	58.4
7.岐阜県	70.8	44.東京都	57.9
8.秋田県	70.7	45.埼玉県	57.6
9.和歌山県	70	46.大阪府	52.6
10.長野県	69.7	47.沖縄県	42.4

〔厚生労働省「2013国民年金保険料の納付率」〕

## 都道府県別年金納付率ヒストグラム



3

## 都道府県別年金納付率

平均は62.4%

- 1位 島根県 (74%)

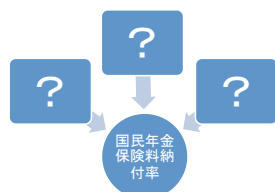
- 47位 沖縄県 (42.4%)

→島根県と沖縄県の差は 約32%

4

## リサーチ・クエスチョン

国民年金保険料納付率の  
都道府県での格差の要因は何か？



5

## 先行研究①

ニッセイ基礎研究所

『どうして国民年金の保険料を払いたくないか？—保険料未納の要因分析』  
 (2014年8月14日)

国民年金未納の主な要因は4つ

①流動性制約...国民年金を支払う余裕が無い  
 (阿部2001, 鈴木他2001など)

②逆選択 ...保険料を支払っても損をする  
 (鈴木他2001)

6

### 先行研究②

③ 時間割引率... 今貰えるお金が大事  
(駒村他2007)

④ 知識不足 ... 金融に関する知識不足  
(四方他 2012)

→ 都道府県別の「格差」について触れていない  
 → 国民年金制度自体への「不信感」を要因とした分析はない  
 → 世論調査データを使用

7

### 理論

#### 政府への不信感が 国民年金の納付率を減少させる

年金を払っても、自分の定年後にはもらえるの？

自分で蓄えを増やした方が、安心なのでは？

8

☆ 政府への不信感をどのように測るか？

9

☆ 政府への不信感をどのように測るか？

10

### ジニ係数とは？

所得の再分配の平等性を客観的に指標化したもの

ジニ係数が

0に近い→**平等**に所得が分配されている  
 1に近い→**不平等**に所得が分配されている

ジニ係数が1に近い、つまり大きいという事は、所得が正しく分配されていない、ということ。

11

つまり...

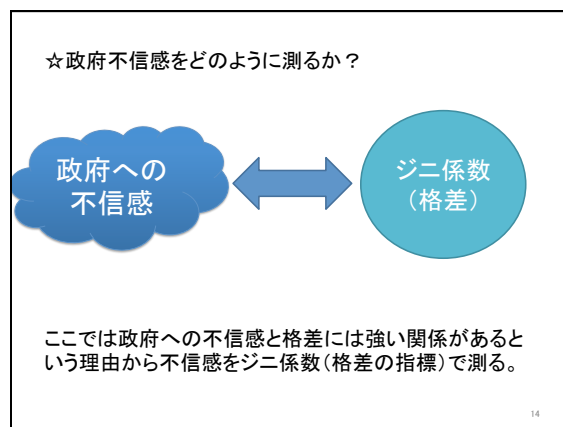
12

「国民が政府を信頼していなければ、政府の格差是正政策は有効に機能しない」

井堀利宏  
『誰から取り、誰に与えるか格差と再分配の政治経済学(p180)』  
(2012年)

→政府への信頼が無ければ格差是正が進まないと解釈、国民の政府への信頼と格差には強い関係があると考えられる。

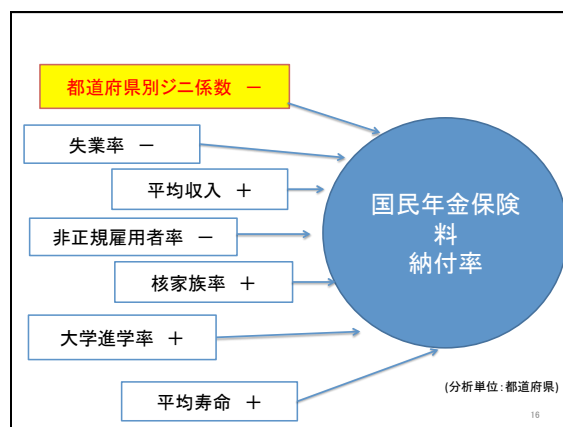
13



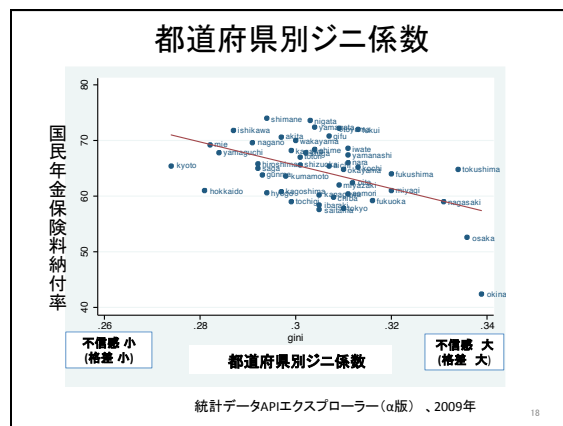
仮説

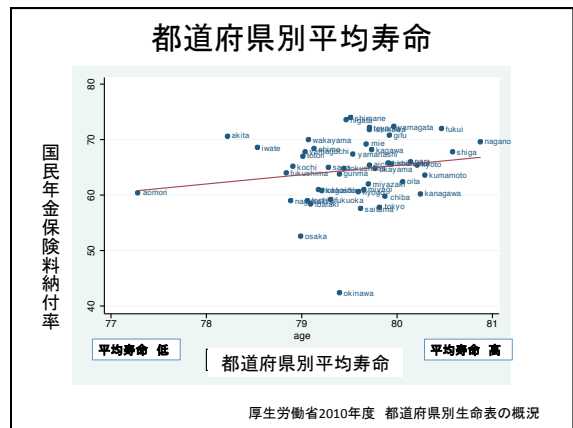
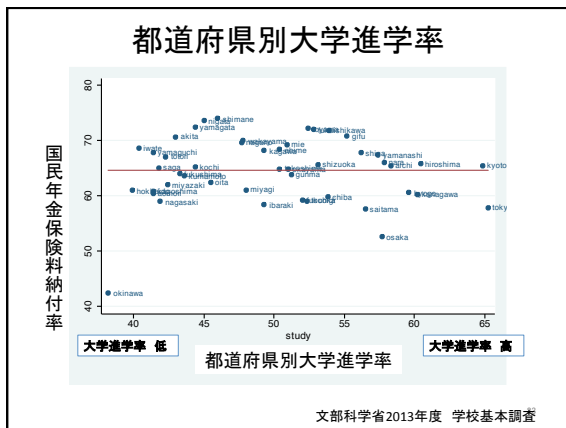
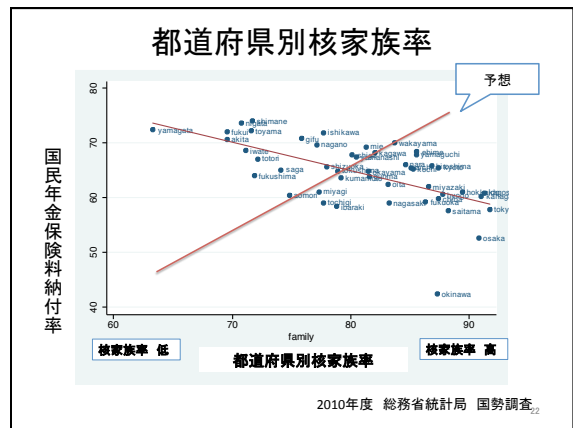
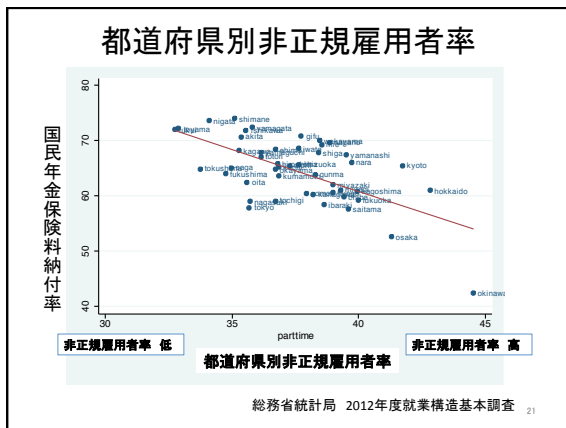
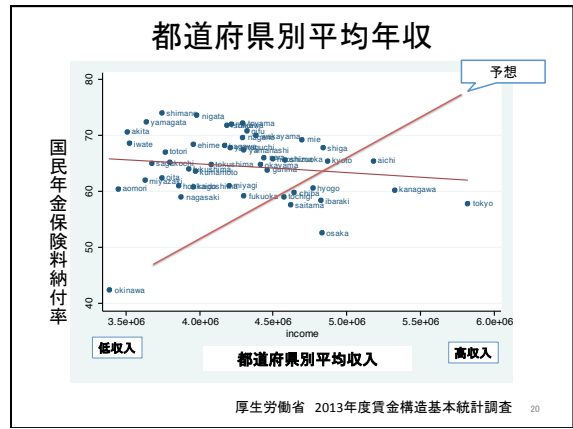
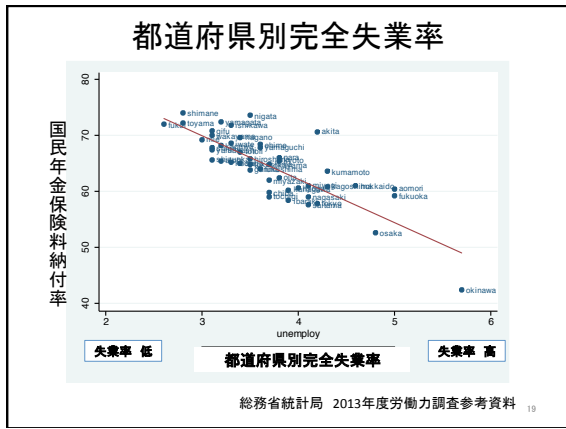
ジニ係数の値が大きければ、大きいほど国民年金の納付率を減少させる

15



- データ
- 国民年金保険料納付率  
厚生労働省2013年度 国民年金保険料の納付率
  - 都道府県別ジニ係数  
2009年 統計データAPIエクスプローラー(α版)
  - 都道府県別完全失業率  
総務省統計局 2013年度労働力調査参考資料
  - 都道府県別平均年収  
厚生労働省 2013年度賃金構造基本統計調査
  - 都道府県別非正規雇用者率  
総務省統計局 2012年度就業構造基本調査
  - 都道府県別核家族率  
2010年度 総務省統計局 国勢調査
  - 都道府県別大学進学率  
文部科学省2013年度 学校基本調査
  - 都道府県別平均寿命  
厚生労働省2010年度 都道府県別生命表の概況
- 17





## 記述統計

変数名	平均	標準偏差	最小値	最大値
国民年金保険料納付率(%)	64.62	5.94	42.40	74
都道府県別ジニ係数	0.30	0.01	0.27	0.34
完全失業率(%)	3.69	0.63	2.60	5.70
平均年収(万円)	424.96	51.83	338.94	582.36
非正規雇用者率(%)	37.52	2.45	32.73	44.52
核家族率(%)	80.79	6.92	63.33	91.72
大学進学率(%)	49.83	6.99	38.20	65.20
平均寿命(歳)	79.50	0.63	77.28	80.88

25

## 重回帰分析の結果

	予測	係数	t値	P値	β値
ジニ係数	-	-142.45***	-4.62	0	-0.33
完全失業率	-	-4.76***	-4.63	0	-0.50
年収(1万円単位)	+	-0.04**	-2.19	0.02	0.33
非正規雇用者率	-	-0.44	-1.86	0.06	-0.18
平均寿命	+	-0.12	-0.16	0.87	-0.18
大学進学率	+	0.22	1.96	0.05	0.26
核家族率	+	-0.17	-1.97	0.05	-0.19
観測数		47			
F値		25.64			
Prob > F		0			
補正R <sup>2</sup>		0.84			

有意確率 \*\*\*p&lt;0.01, \*\*p&lt;0.05

26

## VIF診断

独立変数	VIF
都道府県別ジニ係数	1.25
完全失業率	2.92
平均年収	6.04
非正規雇用者率	2.28
平均寿命	1.55
大学進学率	4.13
核家族率	1.25

VIF < 10 なので、多重共線性がない。  
つまり、独立変数間に過度の相関関係はない。

27

## 結論

有意水準1%で帰無仮説が棄却でき、  
「ジニ係数の上昇が国民年金保険料納付率を  
低下させる要因の1つである」ということが、分  
かった。

28

## 今後の課題

## ①因果関係の問題

本当に所得格差と政府に対する不信感に因果関係があるのか

## ②内生性の問題

所得格差と政府に対する不信感のどちらが原因なのか明らかにされていない

29

ご静聴ありがとうございました

*Thank you for listening!!*

30